



東京活性化宣言!

東京都議会議員

西岡真一郎

2006(平成18)年1月 新春号

No.3

都議会レポート

発行 都議会民主党政務調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

新春・平成17年度第4回定例会報告 特集号!

「安心できる都政の実現へ全力疾走！」



▲12月1日都議会本会議・知事所信表明

平成17年第4回定例会が12月15日に終了しました。今議会は姉歯建築設計事務所による耐震データ偽装問題が大きな関

心を集めた一方、成田空港での官製談合や都発注の公共工事での談合事件が相次いで発覚しています。都議会民主党は、こうした不正を徹底的に追及すべく、会派内にプロジェクトチーム(PT)を設置し、積極的に取り組んでいます。平成18年も私たち都議会民主党は、安心できる都政の実現に向けて、全力を尽くす決意です。

「耐震データ偽造問題、都は迅速な対応を！」

11月17日に発覚したマンション・ホテルの構造計算書偽造事件では、都内でも対象物件があっただけでなく、都が建築確認をした物件でも偽造が明らかになるなど、いまなお被害は拡大し続けています。

民主党は、この問題についてのPTを設置し、現地視察や被害者の声を受けて、二度にわたって石原知事への申し入れを行い、委員会における集中質疑や代表質問などにおいて、被害者に対する支援策や再発防止策、社会

不安の解消方策など、都に対して迅速な対応を求めてきました。私達は、突然自治体から退去勧告を出され、住む場所を失ってしまう住民に対して、元通りの生活を取り戻すまでの間、行政として全力で支援すべきと主張しましたが、都は一貫して消極的姿勢に終始。国の対応策が発表された直後においてさえ、石原知事が「あくまで国の責任だ」と主張をしたことは、残念でなりません。今後も都が果たすべき役割を追及していきます。

本年二〇〇六(平成十八)年は、東京都政や小金井市政にとつて極めて重要な年になります。都民・市民の皆様からの声を受け止め、モットーでもある地道という精神を大切にしながら、今年も精一杯に行動して参ります。

初当選から約半年が経過いたしました。1期生ながらも会派等での要職を拝命し、その重責を果たしていく決意で新年を迎えさせていただきました。予算規模12兆5千億円という国家規模の予算を執行する首都東京をチェックする都議会議員として、その職責と使命を果たすべく、言わば「インク取紙」のように様々な事を吸収しながら、東奔西走の毎日を歩み続けて参りました。

年が終わり、心機一転いよいよ新年を迎えることとなりました。初当選から約半年が経過いたしました。1期生ながらも会派等での要職を拝命し、その重責を果たしていく決意で新年を迎えさせていただきました。予算規模12兆5千億円という国家規模の予算を執行する首都東京をチェックする都議会議員として、その職責と使命を果たすべく、言わば「インク取紙」のように様々な事を吸収しながら、東奔西走の毎日を歩み続けて参りました。



選挙が連続し、まさに選挙イヤー(平成十七)

新春!西岡真一郎の

ゆるぎない決意!

西岡真一郎の役職・担当一覧

新たに4つの議員連盟等に参加いたしました。

- 会派「都議会民主党」…副幹事長、まちづくり部会事務局長、議会改革プロジェクトチーム座長、島嶼振興等調査会委員、「議会」を変えますワーキンググループ委員
- 都議会常任委員会・審議会…環境・建設委員会理事、東京都スポーツ振興審議会委員
- その他……………北多摩南部地域保健医療協議会特別委員
- 議員連盟等<新規>…防災都市づくり推進計画・促進東京都議会議員連盟委員
東京都男女共同参画社会推進議員連盟委員
FC東京をサポートする東京都議会議員の会委員

地方分権改革

政府・与党は11月、平成18年度予算で6540億円の自治体に対する補助金を削減することで合意しました。財務省が頑強に抵抗していた施設整備費約700億円分の廃止やその半額を税源移譲することが決まりました。しかし、その他はほとんどが国庫負担率の引き下げという単なる自治体への負担転嫁にすぎず、これでは自治体の裁量の幅も、創意工夫の余地も広がりません。

待ったなし！地方分権で東京都の活性化を！



国と自治体が役割を分担して、活力ある日本を再生しようという分権改革ですが、霞ヶ関の官僚が目先の権限と予算にこだわり、小泉首相もこれに目をつぶってしまいました。これでは、国、自治体双方の首を絞めることになってしまいます。私達は自治体の自主・自立をめざす分権改革に取り組みます。

談合には罰則の強化を提案

東京都発注の水道・河川工事をめぐり談合事件が相次ぎました。民主党は談合防止策として、入札の参加資格をなくす指名停止期間の延長を主張。石原知事も「今まで以上に重いペナルティを課す必要がある」との認識を示しました。また、都立高校のパソコンリース契約で10億円を超える「無駄遣い」が指摘されたことを受け、予定価格の公表範囲の拡大を提案しています。談合は都民の信頼を損なう税金のムダづかい行為です。私達はこれからも必要な対策を提案していきます。

西岡真一郎がリード！都道府県議会初の議員年金の廃止を求める

都議会民主党では、西岡真一郎が座長を務める議会改革PTを断続的に開催し、議会改革の一環として、地方議員年金制度に関する意見書を提案しました。互助年金から始まった年金制度は、現在、自治体の負担金が約4割に達するとともに、近い将来に積立金が底をつく見通しです。国会議

西岡真一郎が座長を務める議会改革PTを断続的に開催！



員の年金廃止が議論されている一方で、地方議員年金も制度改革が急務です。この意見書が採択されれば都道府県議会では初めてとなるものですが、残念ながら他会派の反対で採択には至りませんでした。しかし、議会改革は時代の要請でもあります。引き続き議会改革全般に関する他府県議会への視察や講師をお招きした研修会や勉強会を精力的に開催し、会派としての考え方を発表していきます。

東京オリンピック、都は計画の全容を示すべき

石原知事が掲げた「東京オリンピック」は、今年3月の都議会本会議にて招致決議の賛否が問われます。民主党は、なぜこの時期にオリンピックを招致するのか、招致費用や大会運営費にいくらかかるのか、競技施設・選手村の整備費用や配置場所はどうか、さらに、オリンピックを通じて東京がどのように変わるのかなど、全体構想を示すよう求めています。民主党は、オリンピック招致に対する都民の幅広いコンセンサスを得るためには、全体像を早急に公表すべきだと主張しています。



障がい者差別禁止へ民主党が動き出す 自立支援法=孤立無援法？

民主党が先の都議選政策「東京マニフェスト」で掲げた「障がい者差別禁止条例」の制定にむけた活動を始めました。民主党内に設置したPTの第1回会合では、障がい者団体の皆さんと意見交換を行い、「何が人間にとって正しい社会なのか考えるべきだ」「今は、障がいと偏見が一体となって認識されている、それを壊す基本理念を条例で定めるべきだ」との言葉を重く受け止めました。PTメンバーは条例提案への決意を改めて確認し、早急に成案を得るべく取り組んでいます。

一方、国会において障がい者自立支援法が成立し、障がい福祉サービスの利用や自立支援医療が、原則1割の定率負担となり、このことで、低所得ゆえに、負担ができず、必要なサービスを利用できなくなるとの指摘がされています。

西岡真一郎も参加して福祉施設等の会派視察を行い、本会議や委員会において具体的な問題点を次々と指摘し、国の不十分な対策をカバーするため、都が独自に、低所得者の負担軽減を行うよう求めました。その結果、都は独自の負担軽減を検討すると約束していただきました。

花粉症対策が本格化 10年間で250億円

都は11月、「スギ花粉の量を10年間で2割削減」との目標を決定しました。その対策



急がれる花粉症対策！

として、林道に近い1万2千ヘクタールの森林では、今後10年間でスギを1200ヘクタール伐採するとともに、山奥の1800ヘクタールの森林では、50年かけて針葉樹と広葉樹の混合林に変えていく予定です。私達は総合的な花粉症対策や設置が見込まれる基金のあり方、間伐材の学校での積極的な活用などを提案してきました。民主党の質問に、石原知事も「花粉症対策に、時をうつさず果敢に取り組んでいく」と決意を述べています。

西岡真一郎は多摩産材を活用した学校木質化計画を推進します！

西岡真一郎が事務局長を務めるまちづくり部会では、首都東京の大切な森林地域、都民の水、空気を生み出している貴重な自然地域である青梅市、奥多摩町、檜原村への現地視察を行いました。都の森林事業、シカ繁殖による被害地、間伐地帯、林道開発の現場、最後には檜原村中学校を訪問し、村が行っている多摩産材を活用した小中学校の校内木質化整備計画を学ばせていただきました。坂本檜原村村長ご自身にもお越しいただき、熱意が込められた研修を行わせていただきました。杉とヒノキの木の温かいぬくもりとやさしい匂いが充満した校舎はとても素敵でした。公共・民間を問わず、様々な建物に多摩産材が活用される取り組みが求められています。



奥多摩地域での林道開発へ
間伐現場へ

西岡真一郎が事務局長を務めるまちづくり部会では、首都東京の大切な森林地域、都民の水、空気を生み出している貴重な自然地域である青梅市、奥多摩町、檜原村への現地視察を行いました。都の森林事業、シカ繁殖による被害地、間伐地帯、林道開発の現場、最後には檜原村中学校を訪問し、村が行っている多摩産材を活用した小中学校の校内木質化整備計画を学ばせていただきました。坂本檜原村村長ご自身にもお越しいただき、熱意が込められた研修を行わせていただきました。杉とヒノキの木の温かいぬくもりとやさしい匂いが充満した校舎はとても素敵でした。公共・民間を問わず、様々な建物に多摩産材が活用される取り組みが求められています。

平成18年度東京都 予算編成に対し 「予算要望書」提出！

12月19日、都議会民主党は、東京都の平成18年度予算編成に対して392項目の要望を石原知事に直接提出しました。同時に、これまでに聴取した各種団体並びに各区市町村の要望を「別冊」として添付し、特段の配慮を求めました。

要望は、政策分野別に8分野に編成し、耐震強度偽装事件対策、耐震診断・改修促進。若年者雇用就業支援、子ども家庭総合センター整備、障がい者福祉、温暖化対策、花粉症対策、観光振興、都庁改革などを重点に要望しました。詳細は都議会民主党ホームページに掲載されていますので、興味のある方はご覧下さい。



副幹事長として
西岡都議も同席

指定管理者決まる。 もっと「民」の力を！

今議会には、公園や美術館など、公の施設の管理者を民間企業などにも認める指定管理者指定の議案が数多く提出されました。対象となっている210の施設のうち、実際に指定管理者を公募したのは148施設、約7割です。その中で民間事業者が選定されたのは46施設で、これまでも民間に委託していた施設を除くと、32施設、約2割に過ぎません。都がどれだけ「民」の力を活かそうとしているのか疑問です。

私たちの質問に、都は、「外部委員を含む選定委員会において厳正に選定を行った結果、より質の高い提案が示されるなど、全体として、創意工夫を生かしたサービスや経費節減といった具体的な成果が得られた」と答えています。私達は今後も指定管理者の管理運営を点検し、よりよいサービス提供となるよう努めます。

視察・研修ラッシュの日々！

この間、東京都内の都有施設や重要課題となっている場所への視察や、東京都政の重点課題や小金井市の発展につながる都政に関するヒアリング活動に従事してきました。「現場主義」を掲げ、自分の目と耳で確かめる重要性を痛感しているからであります。今年も動きます！

◆視察・研修・訪問先…東京湾全域、臨海副都心、立川防災センター、立川防災基地、都立小金井養護学校、都立生活実習センター、都立小金井市公園、江戸東京たてもの園、特別養護老人ホーム(小金井市)、仙川上流部、都議会議事堂屋上緑化、都立小金井工業高校、警視庁、神田川・環状7号線地下調節池、荒川ロックゲート、隅田川、旧中川、荒川、葛西臨海公園、障害者福祉施設(青梅市)、新環状8号線工事現場、東京都森林組合、林道工事現場、奥多摩湖周辺、檜原村中学校、奥多摩間伐現場、シカ繁殖被害地、多摩川万年橋、玉川上水、小金井桜、池袋駅東口タクシール、築地卸売市場。



動物園ではペンギン
赤ちゃんに遭遇

西岡真一郎・都議会での質問概要<環境・建設委員会 10月27日>

1、アドプト・プログラムの推進について…市民や各種団体、企業、学校などが公共の場所（道路、公園、河川等）の美化活動、植栽、清掃を行い、行政が支援するアドプト・プログラムが全国で展開されている。自立した市民意識を定着させる良い事例である。導入した自治体では地域への愛着心、ポイ捨て防止啓発、地域振興等の大きな成果事例が報告されている。①アドプト・プログラムの意義についてどのように考えるか。②東京ふれあいロード・プログラムの対象地域、取組状況及び実施した効果についての認識は。③河川分野への今後の取り組みは。④環境教育の一環として、小・中・高等学校と連携した取組が必要であると考えている。

2、ドッグランの推進について…都民要望であったドッグランが都立公園に設置された。ドッグランは都市空間とペットを考える際、評価される取り組みである。都民の飼い犬は、平成16年末時点で37万3千頭であり、毎年1万頭以上も増加している。東京では、飼い主にとって

は飼い犬を自由に遊ばせたいという声がある一方、公園利用者や近隣住民からは苦情が寄せられることも多く、ドッグラン設置の意義は大きい。①利用者や都民の声をどのように把握しているか。不特定多数の犬達が集まるので、病気には最善の注意が必要である。どのような対策を行っているか。②施設のボランティア活動を促す取り組みを行っているか。③ドッグランが設置される一方、犬の入園禁止となる公園が増えるのではという危惧もある。ドッグランのない都立公園の今後の方向性については。

3、空堀の河川について…東京の河川事業の大きな課題に治水対策があるが、水源・水流がない東京都管理の河川への対応も求められている。小金井市には仙川上流部分があり、降雨時以外にはまったく水流が無く、コンクリートとフェンスが続く暗い環境を生み出し、ゴミが放棄される等、環境衛生上にも問題が生じている。①親水河川や歩道等に改修していく計画を立案すべき。



西岡真一郎プロフィール

- 1969年武蔵野市生まれ・36歳／小金井南小・第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業／自民党本部事務局・新党さきがけ本部事務局職員・最年少の小金井市議会議員2期8年(無所属)、議会運営委員会委員長等を歴任。青年会議所や薬物乱用防止等の多数の地域活動に従事。2005年7月の東京都議会議員選挙にて初当選(民主党公認)。
- 特技：阿波踊り、趣味：映画鑑賞、スポーツ：トライアスロン、ゴルフ
- 地域活動：小金井青年会議所監事、小金井市トライアスロン連合会長、子ども達を薬害から守る実行委員会事務局長、小金井新能理事等を務める。

西岡真一郎のブログ 毎日更新中です！

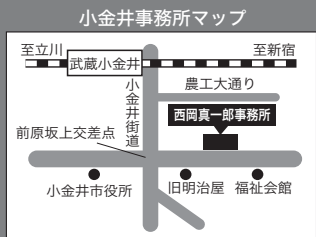
西岡真一郎のホームページでは、活動報告や政策発表等、幅広い情報を発信し、ブログ(日記・メッセージ)は毎日更新しています。ぜひご覧いただき、様々なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

<http://homepage3.nifty.com/s-n/>

事務所のご案内

都政に対するご意見・ご要望は
西岡真一郎にお寄せ下さい！

- 東京都庁連絡先
〒163-8001
東京都新宿区西新宿2-8-1 議事堂5F 都議会民主党
電話 03-5320-7230/FAX 03-5388-1784
- 小金井事務所連絡先
〒184-0004
東京都小金井市本町1-6-2アリスビル1F
電話 042-386-5771/FAX 042-386-5773
mail: DZG01370@nifty.com
URL: <http://homepage3.nifty.com/s-n/>



ご意見欄 都政や小金井市の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せ下さい。送信先▶FAX:042-386-5773、又はmail:DZG01370@nifty.com